

教材・教具名 「リレースイッチ」



所属部署 小学部



つなげ方



1 対象となる幼児児童生徒
肢体不自由、重度重複の児童生徒

2 教材を使用する活動
シャボン玉遊び、ジュース作り、扇風機を使った風遊び等

3 ねらい
棒スイッチとリレースイッチ、ミキサーや扇風機といった電化製品を繋げることで、重度の児童生徒でも操作し活動の幅を広げることができる。また、スイッチを押せば何かが動くということが分かり、「動かしたい」という興味関心を引き出すことができる。

教材の使い方	配慮点
<p>○シャボン玉遊びをしよう</p> <ul style="list-style-type: none">・シャボン玉機とリレースイッチと棒スイッチを繋げて、スイッチに触れるとシャボン玉が出るようにする。  <p>○風を起こして「天の川」を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none">・ちぎった花紙を扇風機の前に置き、スイッチで風を起こして花紙を飛ばす。・紙に糊をぬっておいて、飛んできた花紙がくっつくようにする。 	<p>○棒スイッチを児童が押しやすい位置に設定する。</p> <p>○シャボン玉がよく見えるように調整する。</p> <p>○シャボン玉が出ると「できたね。」等の言葉をかけて、分かりやすいようにする。</p> <p>○一連の動きが分かるように、児童の位置やスイッチの位置を設定する。</p> <p>○花紙が飛びやすいように設定する。</p>